

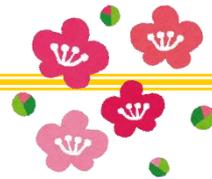


TAC通信

2024年3月26日

第81号

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



令和6年度 残留農薬調査年間計画

年間検体数	317検体（昨年対比▲6検体）
品目数	66種類
内訳	米麦・大豆（29検体）
	果実（154検体）
	野菜（134検体）

令和6年度の残留農薬調査は、県下12JAが参加した中で4月2日（火）からスタートします。年度初めの異動等によりお忙しいとは思いますが、円滑に残留分析検査が行えるように、送付票の事前送付や適性サンプル量での搬入等、関係者の方はご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年度
目標

令和5年度は2月末実績で120件以上の不備が発生しています。その多くは送付票の記載相違、サンプル重量不足、変更日連絡なし、散布器具洗浄不足などの注意をしなければ防げたと思われる内容です。

令和6年度は、こういったお粗末ミスの撲滅を目指します！



実証圃 営農振興モデル実証試験



実施日	2024年2月28日（水） 
場所	松前町圃場 JA全農えひめ農業技術センター

JA全農えひめでは、生産者の負担軽減や労働力の支援に向けて栽培実証に取り組んでいます。その一環として、白ねぎの産地振興に向けた機械化一貫体制の実証を中予地区にて開催しました。当日は生産者やJA、関係機関等あわせて28名が参加し、機械を使った収穫や選別機による荷造り支援の作業を確認しました。



一年があっという間に過ぎました。月日が経つのは早いですね。TAC通信を読んでいただきありがとうございます。来年度もよろしくお願いいたします！

JA全農えひめ 営農支援課 TEL:089-948-5755
mail:zz_eh_ninaitetaisaku@eh.zennoh.or.jp